



General Assembly Instruction Manual

「Lubic-BASIC NE」

組立の手引き Ver1.00

【はじめに】

この度は「Lubic-BASIC NE」をご購入頂き、誠に有難うございます。本製品は、アルミフレームの組み合わせでレイアウトを自在にカスタマイズ出来るLubicシリーズの「育成型外付けケース・組立キット」です。

「パソコンケースをカスタマイズし新しい楽しさを発見する」をコンセプトに、本製品がユーザーのアイデアを刺激し、PC-DIYを自由な発想でチャレンジする出会い、そして快適なPCライフ構築のお役に立てれば幸いです。

□本製品と発売中のオプションパーツを組み合わせる事で、ご利用環境に適したPCケースへの拡張・改造が可能です。また発想によっては、PCケース以外の創作も可能です。

□Lubic公式サイト“ www.lubic.jp ”にてLubicに関する話題や情報を発信しています。ユーザー同士の活発な意見交換や完成品発表の場としてコンテンツを充実していきます。

本製品に関するお問い合わせ

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1 豊栄ビル 5 階

KAIREN CORP.「サポートデスク」

TEL:04-2928-6836 FAX:04-2929-6297

e-mail : support@lubic.jp

【主な仕様】

Lubic-BASIC NE	簡易 PC ケース/パソコン検査台
外形寸法	288mm (D) / 384mm (W) / 224mm (H) (作成例の場合)
<p><免責事項> 本製品は細心の注意を払い、製作しておりますが、極稀に目立たない傷がついている場合があります。 機能に影響しない程度の傷は保証対象外とさせて頂いております。</p>	

【組立て前の注意】

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 内容物がすべてそろっているかを確認してください。
 本書の内容物一覧表を参照してください。もし内容物がそろっていないときは、表紙のお問合せ先までご連絡ください。
- あらかじめアクリルパネルに固定用金具を取付けてからご利用ください。組立後に金具を取付けるとパネルが破損することがあります。

【組立て作業時の注意】

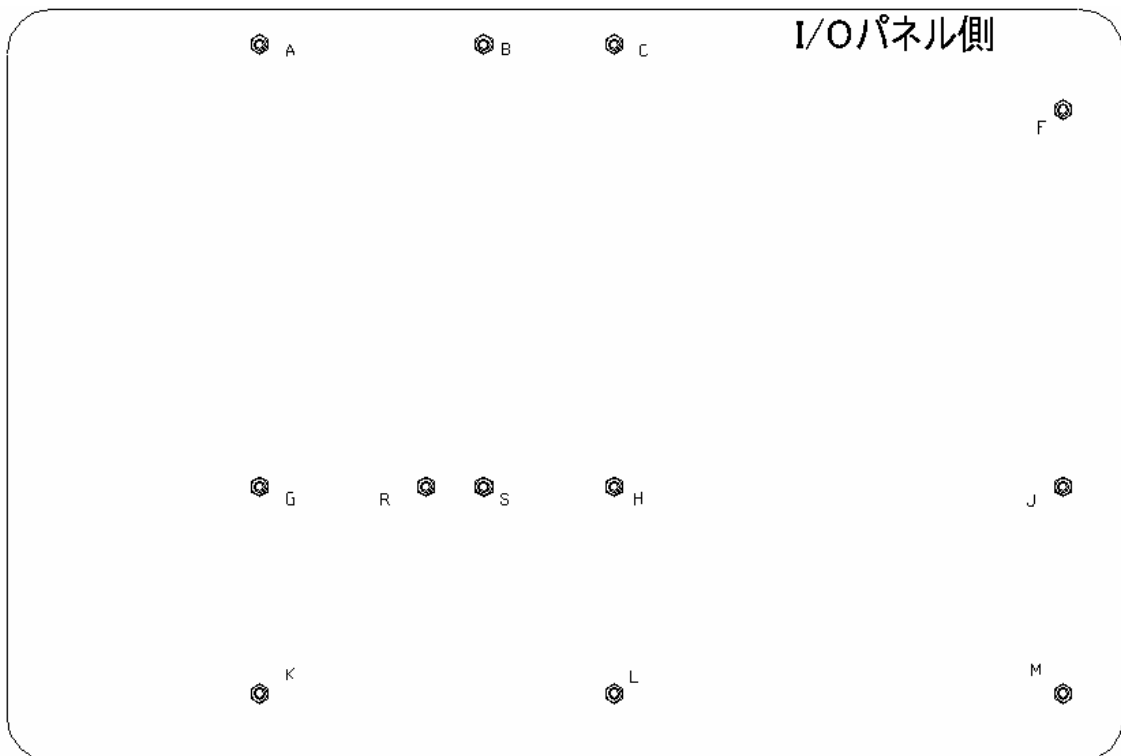
- 水平かつ安定した場所で組立てをおこなってください。
 - けがやアクリルパネルの汚れを防ぐために付属のコットングローブをつけて作業をおこなってください。
 - 組み立てる際は説明書の手順通りおこなってください。無理な組み立て方をすると、破損や事故の元になります。
 - フレームなどの金属物でまわりの家具などが傷つかないように注意してください。
 - LUBIC BASIC キットをつくるにはプラスドライバーと6mm 角ボックスドライバーが必要になりますので、用意してください。
 - 本製品の付属品は、説明書の作業手順に基づいて完成品になるサイズに加工しています。
- 異なる作業手順・拡張・改造を行う場合には、サイズにご注意ください。
- 金具やアクリルパネルには、保護フィルムが貼られていますので、はがしてからお使いください。
 - フレームや金具とアクリルパネルの接触は極力避けてください。傷や汚れの原因になります。
 - M/B 固定用パネルは ATX または MicroATX、FlexATX 規格専用です。異なる規格のマザーボードには対応していません。
 - 作業後の工具類や余った部品は、幼児の手の届かない場所に保管してください。

【導入部】 ACMB-AO にネジを取付ける。

ACMB-AO は、ATX、Micro-ATX、FLEX-ATX、Mini-ITX に対応したアクリルパネルです。

お買い上げの状態ではこのパネルにスペーサー用ネジが取り付けられていませんので、スペーサー用ネジを埋め込む作業を行います。



スペーサー用ネジの取り付けには同梱の「ボックスドライバー」をご使用ください。





【注意点】

- ※アクリルパネルには保護シールが張られています。剥がしてからお使い下さい。
- ※間違ったネジ穴に取り付けるとマザーボードのショートの原因になります。
- ※マザーボードをアクリルパネル上に重ね、ネジ穴を確認してからお取り付け下さい。
- ※Dual M/B のご使用をされない場合、スペーサー用ネジの取り付けは1面だけに留めてください。
- ※一度固定したスペーサー用ネジを取り外すと再度の取り付けが出来なくなります。
細心の注意を払って固定してください。




【基本的な作り方】

	
<u>3S</u> を <u>フレーム</u> の溝に必要数挿入します。	<u>CAP</u> 類を <u>SC6M4</u> で固定します。
必要な道具は“ <u> </u> ”(下線)で示しています。詳しくは[<u>内容物一覧</u>]をご覧ください。	

この章では、2タイプの面の作成を説明します。

Aタイプ:アクリルパネル固定タイプ	Bタイプ:アクリルパネルスライドタイプ
	

このA、Bタイプの面の作成により、以下の3パターンの簡易ケース制作が可能です。

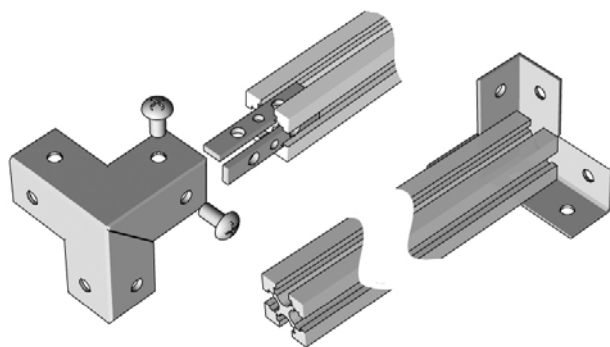
「Standardタイプ」	「Removable M/Bタイプ」	「Dual M/Bタイプ」
A+A	A+B	B+B
		
<p>A+Aタイプで制作したものです。 アクリルパネルの四辺をフレームで囲い、固定しました。入れ替えが必要のない方におすすめします。</p>	<p>A+Bタイプでマザーボードの抜き差しが可能になります。Basicシリーズのポピュラーな制作パターンです。マザーボードの入れ替えが容易なので、メンテナンス性重視の方におすすめします。</p>	<p>パワーユーザー向けの両面マザーボードです。B+Bタイプで制作しました。せまい場所で2台のPCを利用する場合に最適です。 ※2枚のマザーボードをご使用の場合、スイッチ「LUBIC-SWR3」が別途必要になります。</p>

【作業工程の概要】

1. 面の制作準備として、384mm フレームに CAP、CAP-EX を取付けます。
2. 1.で作成した CAP 付き 384mm フレーム、CAP-EX 付き 384mm フレームと 256mm フレームを結合します。
3. 面を完成させます。
4. 作成した面を連結して立体を構成します。

[Step1-1 作業内容:384mm フレームに CAP を取り付ける]

【使用部品】・384mm フレームx2 本 ・CAPx4 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x8 個



[Step1-1]

384mm フレームに左図のように「3S」を挿入します。

「CAP」の奥まで 384mm フレームを当てこんで「SC6M4 ネジ」で留めます。

※ CAP の切れ込みが同じ面にそろるようにし留めてください。後の作業でケース上面を向きます。(左図参照)

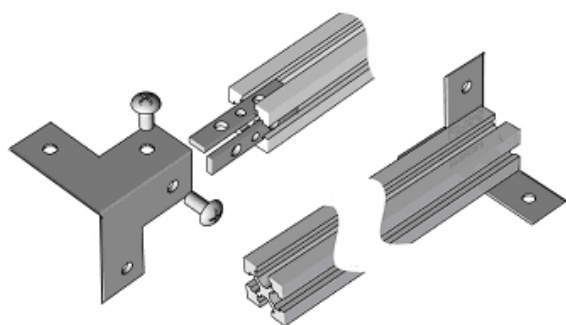
384mm フレームの両端に「CAP」を取付けます。

同じものを 2 組作成します。



[Step1-2 作業内容:384mm フレームに CAP-EX を取り付ける。]

【使用部品】・384mm フレームx2 本 ・CAP-Exx4 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x8 個



[Step1-2]

384mm フレームのレールに 3S を 2 個差し込みます。

「CAP-EX」の取付ける場所を決定します。

フレームの端と CAP-EX の端が合うように SC6M4 で固定します。3S がフレームからはみ出さないよう取付けます。

同じように 384mm フレームの両端に「CAP-EX」を取付けます。

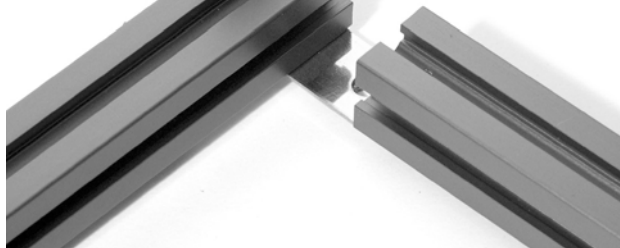
同じものを 2 組作成します。



[Step2 作業内容:アクリルをスライドさせない面の作成 -【Aタイプ】の製作-]

【使用部品】・CAP-EX 付 384mm フレームx1 本 ・CAP 付 384mm フレームx1 本 ・256mm フレーム x2 本
・ACMB-AOx1 枚 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個

384mm フレーム



256mm フレーム



256mm フレーム



384mm フレーム



[Step2-1]

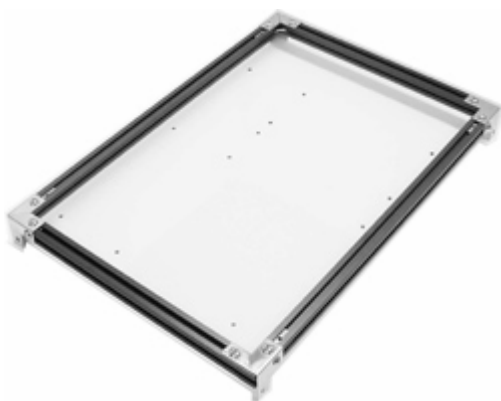
CAP-EX 付 384mm フレームと 256mm フレームを 3S で接続し SC6M4 で固定します。

もう一方も同様に製作します。

[Step2-2]

CAP 付 384mm フレームと 256mm フレームを 3S で接続し SC6M4 で固定します。

もう一方の端も同様に製作します。



[完成]

384mm フレームと 256mm フレームの溝に ACMB-AO をいれ、四隅を固定すれば完成です。

ACP-A3 が完全に固定された面が出来上がります。

製作した面を今後【Aタイプ】と呼称し説明します。

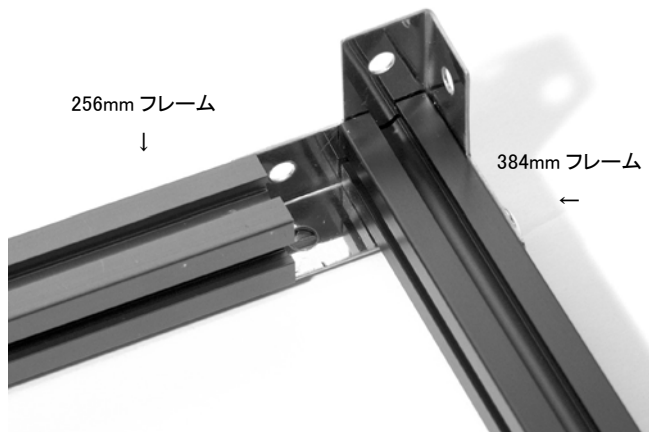


[補足]

【Aタイプ】を 2 枚作成すると、巻末【完成例】の「Standard タイプ」が完成します。

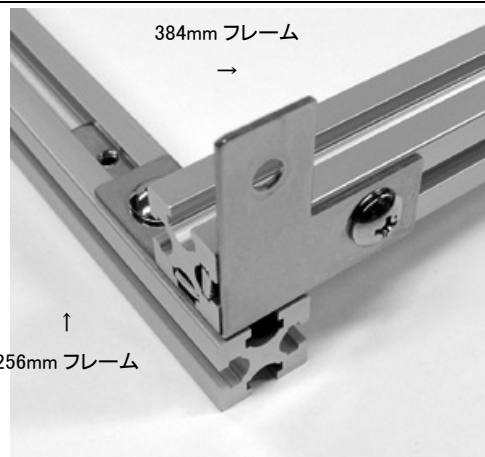
[Step3 作業内容:アクリルをスライドさせる面の作成 -[Bタイプ]の製作-]

【使用部品】・CAP-EX 付 384mm フレームx1 本 ・CAP 付 384mm フレームx1 本 ・256mm フレーム x2 本
 ・ACMB-AOx1 枚 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個



[Step3-1]

CAP 付 384mm フレームと 256mm フレームを 3S で接続し SC6M4 で固定します。
 もう一方にも同様に 256mm フレームを固定します。



[Step3-2]

CAP-EX 付 384mm フレームを [Step3-1] で作成したものと接続します。この時、写真のように「段差」をつけて固定します。
 もう一方の端も同様に製作します。



[完成]

四隅が固定されていますが、段差があるため ACMB-AO が抜き差し出来るようになっています。
 製作した面を今後 [Bタイプ] と呼称し説明します



[補足]

[Bタイプ] を 2 枚作成すると、巻末 [完成例] の「Dual M/Bタイプ」が完成します。

[Step4 作業内容:160mm フレームで高さを作る]

【使用部品】・A または B タイプ x1 面 ・192mm フレーム x4 本 ・3Sx6 個 ・SC6M4x6 個



[Step4-1] (写真は A タイプですが、B タイプでも同様です。)
 制作した 1 面、A または B タイプを底面とし、四隅の CAP と CAP-EX に 192mm フレームを固定していきます。



[完成]

全ての四隅に 192mm フレームを固定したら完成です。

[Step5 作業内容:立方体を製作し、完成させる]

【使用部品】・A または B タイプ x1 面 ・192mm フレームで高さを作った面 ・SWR2x1 個 ・3Sx8 個 ・SC6M4x6 個 ・SC6M3x2 個

[A + A タイプの場合]



[完 成]

先程の【作業内容:192mm フレームで高さを作る】で作成した面の上に、残りの面を被せます。

任意の場所にスイッチを取り付け、四隅を 3S と SC6M4 で固定し完成です。

写真の様に A + A タイプで巻末【完成例】の「Standard タイプ」が完成です。

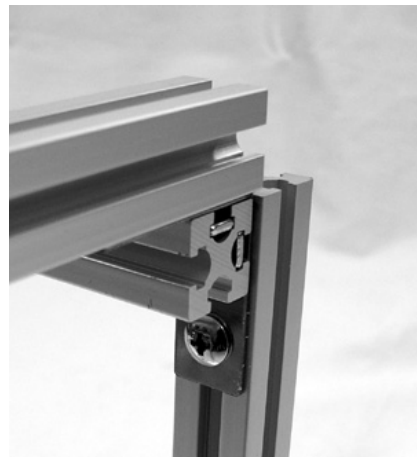
[A + B タイプの場合]



※接続部写真



前から見た接続部



後ろから見た接続部

[完 成]

先程の[作業内容:192mm フレームで高さを作る]で作成した面の上に、残りの面を被せます。

任意の場所にスイッチを取り付け、四隅を 3S と SC6M4 で固定し完成です。

写真の様に A + B タイプで巻末【完成例】の「Removable M/B タイプ」が完成です。

【 完 成 例 】



「Removable M/B タイプ」

A+B タイプでマザーボードの抜き差しが可能になります。Basic シリーズのポピュラーな制作パターンです。

マザーボードの入れ替えが容易で、メンテナンス性重視の方におすすめします。



「Standard タイプ」

A+A タイプで制作したものです。

アクリルパネルの四辺をフレームで囲い、固定しました。

入れ替えが必要のない方におすすめします。



「Dual M/B タイプ」

パワーユーザー向けの両面マザーボードです。B+B タイプで制作しました。

せまい場所で複数台のPCを利用する場合等に威力を発揮します。

※2 枚のマザーボードを同時に起動する場合、スイッチ「LUBIC-SWR3」が別途必要になります。